

第1回 福岡空港技術検討委員会

滑走路・誘導路配置の検討

平成21年12月22日

1. 検討概要

調査段階で選定された滑走路増設案（滑走路間隔 210m）を対象に、滑走路、過走帯、着陸帯、滑走路端安全区域、誘導路、誘導路帯の配置計画を検討する。

2. 基準等

1) 基準

構想・施設計画段階における滑走路、誘導路等の配置は、「空港土木施設の設置基準解説（平成 20 年 7 月 国土交通省航空局監修）」を基に計画する。

2) 空港の利用を予定する航空機

利用する航空機の種類及び型式

・航空機コード : コード E（翼幅 52m 以上 65m 未満）

出典：空港土木施設の設置基準解説（平成 20 年 7 月 国土交通省航空局監修）

【参考】コード E 対象機材……………B747、B777 等

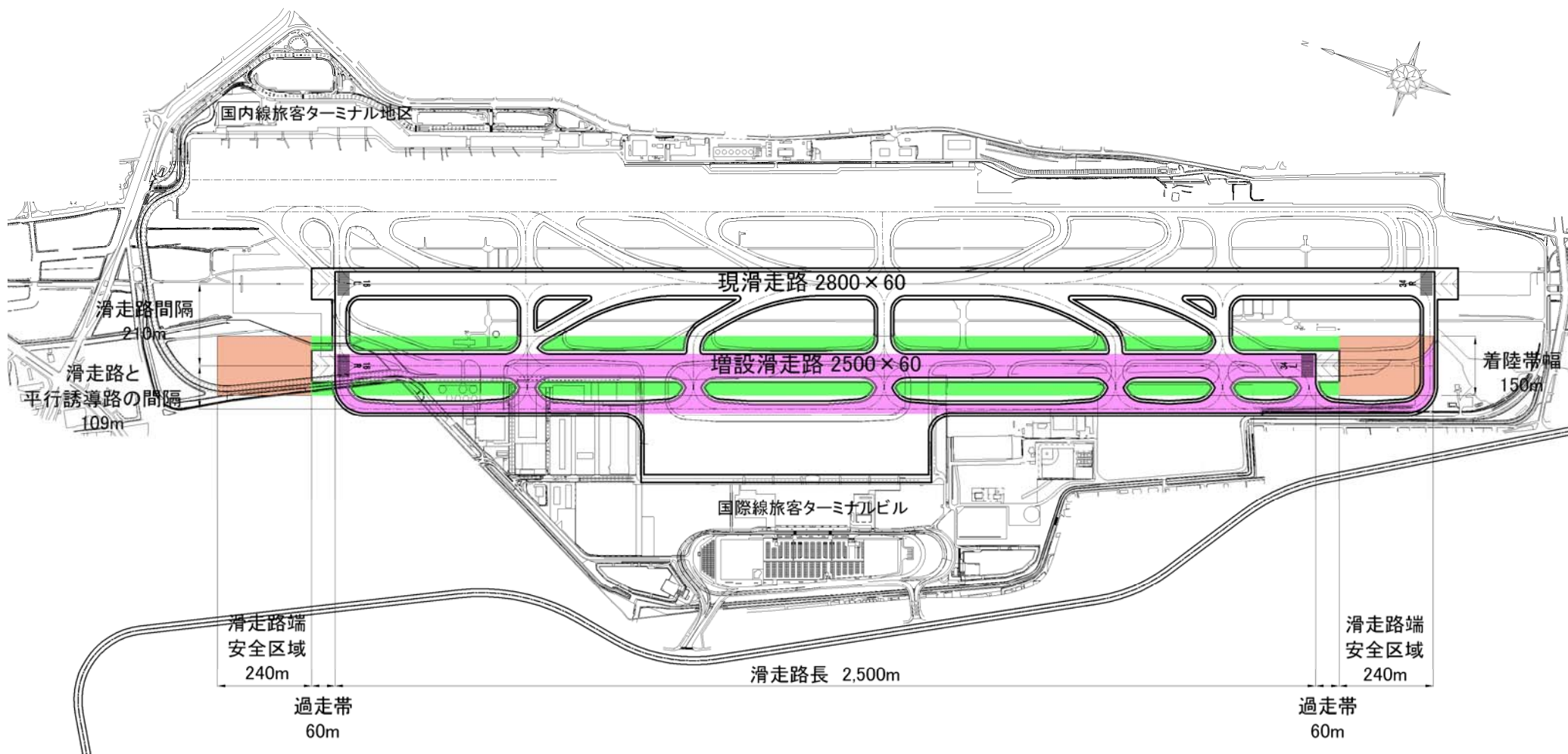
3. 滑走路等

増設滑走路等の基本諸元は次のとおりとする。

■ 滑走路位置（東西方向）	現滑走路の西側
	滑走路中心線間隔 210m
（南北方向）	滑走路端の北側位置揃い
■ 滑走路種別	非精密進入用滑走路
■ 滑走路	長さ： 2,500m 幅： 60m
■ 着陸帯	長さ： 2,620m 幅： 150m
■ 過走帯	長さ： 60m 幅： 60m
■ 滑走路端安全区域	長さ： 240m 幅： 150m

出典：空港土木施設の設置基準解説（平成 20 年 7 月 国土交通省航空局監修）

■施設配置諸元



4. 誘導路

1) 平行誘導路

航空機コードEを対象とした平行誘導路の基本諸元は次のとおりとする。

- 非精密進入用滑走路と平行誘導路の間隔 109m
- 平行誘導路 幅： 23m
- 誘導路帯（誘導路縁より） 39m

出典：空港土木施設の設置基準解説（平成20年7月 国土交通省航空局監修）

2) 取付誘導路

新設西側平行誘導路と増設滑走路間の取付誘導路は以下の配置を基本とする。ただし、今後さらに運用面を考慮した配置に変更する場合がある。

- 末端取付誘導路 幅： 28.5m
- 中間取付誘導路 幅： 34m

出典：空港土木施設の設置基準解説（平成20年7月 国土交通省航空局監修）

【取付誘導路配置の基本方針】

* 末端取付誘導路

増設滑走路の両末端に配置する。（下図①、⑦）

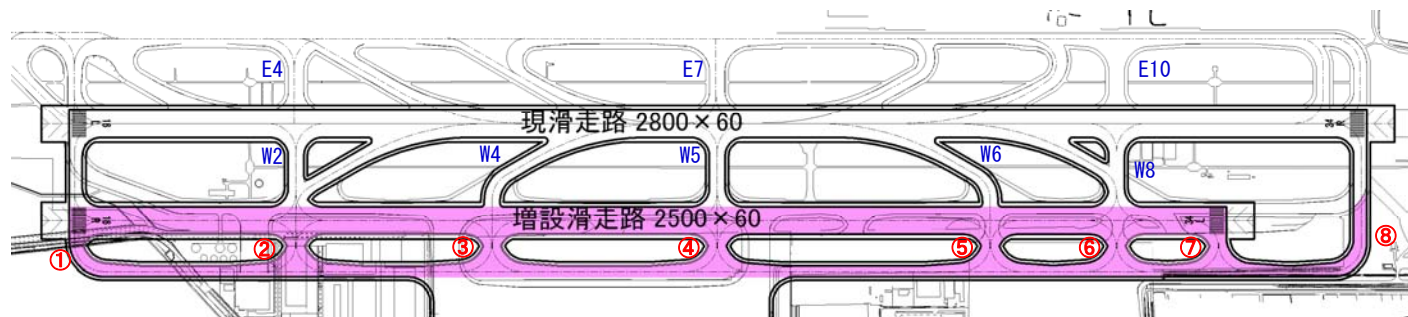
また、増設滑走路34側末端には現滑走路34側末端との動線を確保するため、平行誘導路を延長する形で取付誘導路を配置する。（下図⑧）

* 中間取付誘導路

既設取付誘導路と接続する箇所（E4-W2誘導路、E7-W5誘導路、E10-W8誘導路）には、その延長線上に配置する。（下図②、④、⑥）

また、既設高速脱出誘導路（W4、W6）と接続する箇所には、既設高速脱出誘導路に以下の線形を設定した上でその延長線上に配置する。（下図③、⑤）

- ・ 高速脱出誘導路の機能を確保するため、分岐曲線後の直線距離
- ・ 誘導路中心線の標準曲線半径



5. 離着陸地域の断面構成

前述の滑走路等及び誘導路の基本諸元を踏まえて、離着陸地域構成断面は次のとおりとする。

